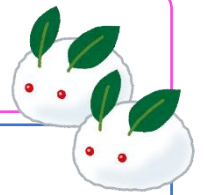


日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			月謝振替日			
5	6	7	8	9	10	11
育伸テスト 〃提出締切	休校		月謝再振替日			休校
12	13	14	15	16	17	18
	休校					
19	20	21	22	23	24	25
	休校			休校		
26	27	28	開校時間 火～金 14:00～21:10 土 10:30～19:00 日 13:00～19:00 発熱・腹痛等少しでも体調が悪い場合は登校を控えてください			
	休校					

★2月の予定 2/5 育伸テスト 2/10 私立高校入試 2/16 京都公立高校入試(前期)

※ 2/11、2/23 休校 (集合授業は休み・自学、各種道場は別紙参照)



★ 3月の予定 3/5 五木駿々堂模試(予定)

※ 春期講習は後日案内を配布します

M.access (エム・アクセス)

TEL:075-256-7739

Fax:075-256-7724

E-mail maccess@sch.jp

独断◆国語が、学問の中で最も重要な科目だという理由には、大きく二つある。◆一つ、全ての学問の基礎であること。国語とは言語だから、全ての思考の基礎となる。全ての思考はその人の母語で行われるから、国語(日本語)力がすなわち思考力の礎となる。いかに論理的思考力が優れている脳を持つていたとしても、それを操る国語力が劣っていればどうにもならない。どんなに馬力の高い車に乗ったとしてもそれを操るドライビングテクニックがなければ、軽自動車にやすやす置いていかれるようなものである。◆二つ、国語はその基礎の習得のできる年齢が限られており、かつ時間がかかること。その臨界期には諸説あるが、ある年齢までに習得すべき母語に十分に触れる必要があることに異論はあるまい。またきちんと述べられた論文を寡聞にして知らないが、本能に組み込まれた「音声言語を理解する能力」とは別に、学習して身につける「文字言語を理解する能力」は、臨界期があるとしても「音声言語」とは異なるだろうし、また基礎を習得するだけにもかなり時間がかかる、と私は考えている。◆私の経験からすると、「文字言語」の基礎力習得はおよそ中2～3が臨界期で、小学生からきちんと取り組んだ場合でも、習得に3～4年かかる。◆だから「中学受験は自宅で行える」でも「進学塾不要論」でも書いてるように、基礎学力が十分であれば、小5からでも小6からでも難関校合格は可能であるが、その基礎学力が国語の場合は「文字言語を理解する力」であるから、どうしても低学年からきちんと読み書きすることができるようになっておく必要があるのである。(み)